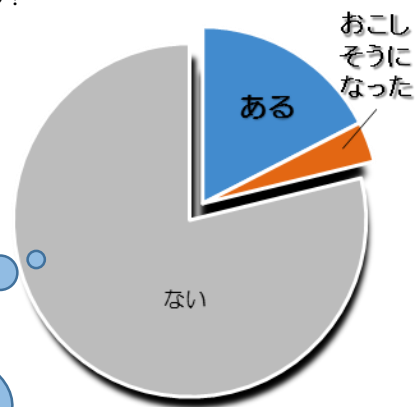


おうちでできる！ 子どもの事故予防

子どもは運動機能の発達とともに、いろいろなことができるようになります。
その一方で、様々な事故にあうおそれも・・・。
月齢に多い事故やその対策を知り、事故を未然に防ぎましょう！

1～4歳の死因（全国）

	死因
第1位	先天奇形、 変形および染色体異常
第2位	不慮の事故
第3位	悪性新生物
第4位	心疾患
第5位	肺炎



H31年度乳幼児健康診査受診者健診票結果より

久留米市在住の方の
約5人に1人 は
事故を経験したことがある
もしくは
事故を起こしそうになったことがある！

3歳頃に起こりやすい事故と対策

交通事故



3歳になると複雑な動きが可能に。
ストライダーや三輪車などの乗り物
に乗れるようになるため事故に注意！

- ・ストライダー等、子どもが
足で蹴って進むペダルなし
二輪遊具は道路交通法上、
道路で使用は出来ません。
- ・必ずヘルメットをつけて
正しい乗り方を教えましょう。
- ・ストライダーや三輪車にのる時は
転倒しないよう、目を離さないように。



溺水



出来ることが増え、行動範囲が
広がる年齢であるため、水辺に
行く際は注意が必要です。

→水辺に行くときは大人が事前に**危険な場所がないか確認**。子どもが危険な場所で遊ばないように見守りましょう。



→**ライフジャケット**等の着用や、
子どもが水に入る際は
大人が付き添うように。

転落・けが

3歳になると高いところに登ったり、
公園や園庭の遊具で遊べるよう
になってきます。同時に転落やけが
などの事故も増加します。



- 6歳以下**の子どもは大人が
付き添い、目を離さない
ように注意。
- 服のひもなどが首にしまる
おそれがあるので、
服装やかばんなどの
持ち物に注意しましょう。